



八鹿青溪

貫徹 慎独 創造

令和4年12月8日発行
第19号

養父市立八鹿青溪中学校
兵庫県養父市八鹿町九鹿201-4

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

学を為すは たとすれば山に登るがごとし

今月のそうあん先生の教えは「学を為すは、たとすれば山に登るがごとし」。その意味は「学ぶということは、例えて言えば、ちょうど山に登るようなものだ。辛さを味わい、苦しさを味わい、一步一步力強く進んでいって、ようやく(学問の)とても高いところに達することができる。高いところに達すれば、視界は自然に広く開け、今まで自分のいたところから抜け出して周りを見ることができものである」です。本校の生徒は今月、この教えを念頭に生活しています。1、2年生は一つ上の学年(次の山)への準備。そして3年生はいよいよ入試が始まりました。義務教育修了後の進路(さらに高い山)を見据え、力強く歩みを進める時を迎えています。がんばれ、八鹿青溪中生。



運動部活動の結果

今秋には県下各地で各部の県新人戦などが行われました。新チームも先輩に続けと日々充実した活動を行っています。

- 女子駅伝競走部 兵庫県中学校駅伝競走大会 第46位(但馬内1位)50分45秒
1区:米田ともみ(2年) 2区:寺田桜彩(1年) 3区:朝倉陽菜(2年)
4区:森本和奏(2年) 5区:池田歩乃箕(2年) 控え:山田芹吏奈(2年) 大谷 楓(1年)

- ソフトボール部:兵庫県中学校ソフトボール新人大会 ベスト8
1回戦○7-6三原中 2回戦●3-12丹南・西紀中合同

男子ソフトテニス部

- 兵庫県中学校ソフトテニス新人大会:団体2回戦●1-2二見中
個人戦 3回戦惜敗 櫻井大輝(1年)・藤原未来(1年)ペア 2回戦惜敗 森本幸太(2年)・池田陵空斗(2年)ペア
但馬地区1年生のじぎくカップ:第5位 中野楓太(1年)・山内暉斗(1年)ペア
但馬中学校選抜招待大会:個人戦 優勝 櫻井大輝(1年)・藤原未来(1年)ペア

女子ソフトテニス部

- 兵庫県中学校ソフトテニス新人大会:個人戦 3回戦惜敗 太田垣美玖(1年)・丸岡千晃(1年)ペア
但馬地区1年生のじぎくカップ:第5位 村上瑠夏(1年)・井上倅花(1年)ペア

野球部:第40回全日本少年軟式野球大会但馬地区大会

- 1回戦○不戦勝-日高東中 2回戦●1-5豊岡北中



駅伝県大会のタスキは82番8は但馬地区、2は但馬大会順位を表し、本校は82番。

□就学援助制度について□

令和5年度の就学援助に関する申請時期となっております。お子様を就学させる上で経済的に困りの方に対して、学用品費や学校給食費等、就学に必要な費用を援助する制度です。新たに希望される場合は、本校(TEL662-2237)までお問い合わせください。書類の作成は各地区の民生委員・児童委員様にもご協力をいただきます。

■全国学力・学習状況調査結果から■

「市広報11月号」に全国学力・学習状況調査の結果が掲載されていきました。広報の内容は、概ね本校の結果と同じような傾向です。本校の状況について報告させていただきます。本校では、この分析結果を参考に、授業改善に尽力する所存ではありますが、この調査は、学力の一部であることや、生活習慣・学習習慣も含めて改善していくための一つの手がかりとすることをご理解いただき、ご家庭においても、学校で取り組んでいる家庭学習や睡眠、朝食などの習慣付けについて、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

<国語>全体:全国平均と同程度

- 正答率が高かった問題と趣旨
 - ・「除く」「喜んで」など、文脈に即して漢字を正しく書く。
 - ・行書の文字のバランスについて理解する。
- ※結果につながった指導
 - ・日頃の学習、特に家庭学習や各課題への取組が良い。文字のバランスについては授業中にその都度丁寧に説明している。



防災マップを説明

●課題となった問題と趣旨

- ・スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、その様に話す意図を考える。
- ・物語を読み、読み手が前向きになる理由を決められた条件に沿って書く。

※改善のための取組

- ・聞き手を意識した表現の工夫をしたり、相互に評価したりする機会を増やす。
- ・心情を表す言葉を取り上げて、その変化をたどったり、叙述の細かな違いが表している心情の違いを考えたりする。自分の解釈を考えたり、他の読み手の解釈も比較したりする機会を増やす。

<数学>全体:全国平均と同程度

- 正答率が高かった問題と趣旨
 - ・連立二元一次方程式を解く。
 - ・差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることを説明する。
- ※結果につながった指導
 - ・授業や家庭学習における計算問題の継続的な取組。
 - ・結論が成り立つための前提を考え、成り立つ事柄を予想するために、具体例をあげて考える時間をつくったり、問いの意味を理解しながら解き進めている。



協働的な学習

●課題となった問題と趣旨

- ・整数の性質についての理解を問う、42を素因数分解する問題。

※改善のための取組

- ・自然数を素数の積で表すことができるようにするために、小学校で学んだ約数や倍数の性質を捉え直す場面を設定する。

<理科>全体:全国平均をやや下回る

- 正答率が高かった問題と趣旨
 - ・分子のモデルを表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す。
- ※結果につながった指導
 - ・授業中に分子のモデル図を用いて、具体的に説明する時間が多かった。

●課題となった問題と趣旨

- ・調べた実験結果から課題に正対した考察を記述する。

※改善のための取組

- ・自分の考えを発表するだけでなく、同時に文章として書いたり、タブレット内にまとめたりする活動を多く取り入れる。

<質問紙調査から>

*肯定的な回答(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」)を選択した生徒の比較※90%以上の生徒が肯定的に回答している主な項目

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 友達と協力することは楽しいと思いますか → 自己有用感の高まりが見られる。
- ※全国の結果と比較して高い割合(5%以上)で肯定的に回答している主な項目
 - 今住んでいる地域の行事に参加していますか
 - 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか → 地域の行事に参加するだけでなく、そのことが主体的な活動になりつつある。

※気になる項目

- 学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。 → 学校としてICT機器の活用方法を見直し、授業改善に努めなくてはならない。